

会議名称：平成28年度8月期古賀市社会教育委員の会議

日 時：平成28年8月30日（火） 19時～21時

場 所：古賀市役所 第2委員会室

主な議題：①「第3回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について

②『家庭の教育力』と『地域の教育力』について（グループ討議）

傍聴者数：なし

出席者：松本議長、加藤副議長、平島委員、船越委員、角森委員、

國友委員、佐々木委員、松末委員、横大路委員

（以上委員9名）

力丸生涯学習推進課長、柴田参事補佐、野田

欠席者：安武委員

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：①レジュメ

②「第3回古賀市生涯学習笑顔のつどい」アンケート結果について

会議内容：以下のとおり

委員：

みなさん、こんばんは。

8月期の社会教育委員の会議を始めます。『笑顔のつどい』はお疲れ様でした。

今日は『第3回古賀市生涯学習笑顔のつどい』の反省を前半に行いまして、その後、グループ討議に分かれ、残りの時間は報告・連絡事項にあてたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、協議事項に入ります。「2. 協議事項(1)」について、事務局からいろいろなデータが出ておりますので、よろしくお願いします。

事務局：

委員が『笑顔のつどい』の所要時間を出していただいています。閉会が12時3分ということで、予定より少し遅れましたが、ほぼ予定どおりになっております。

続きまして、出席者詳細ですが、当日資料を140配付しておりまして、キッズプラス参加者やりんコールの一部の方が資料をとられてなかったということで、資料をとられてない方を30としまして、参加数はおよそ170名となっております。

アンケートにご回答いただいている71人の団体内訳であるとか、アンケートの内容についての詳細を記載しておりますので、参考にさせていただきたいと思います。また、今年初めて、アンケートに参加回数を入れておりましたが、初めての参加の方が半分ぐらい、2回目が20%、3回目も20%ということでした。男女比は女性の方が多く、また団体に所属している方の参加が多い。年代別も若い方の参加が少なく、50代から70代でほぼ占めているということになっております。学校区ですが、当日粕屋地区の操

法大会がありましては、その関係で小野校区と古賀西・花鶴校区が少なくなったのかと考えております。

感想は、みなさん実践報告について「とてもよかった」と、思っていただけようです。りんコールの感想の未記載が47%だったのは、りんコールの出演者の方が、準備のために途中で退席されたり、行政区の夏祭りの準備のために退席されたりしたからかと思えます。また詳しい内容や反省点をみなさんから出していただきまして、その内容を取りまとめたものを来月の会議で資料を出したいと思えます。よろしくをお願いします。

委員：

『笑顔のつどい』について各委員から意見を出してもらおうとことで、つどい終了後時間があり、内容についてみなさんにメモをしていただいていたので、自由に出してもらいたいと思えます。「『笑顔のつどい』を振り返って」という資料をお配りしています。12の視点からつどいについて書いておりますので、どのことでもいいので自由に出していただければと思っております。『笑顔のつどい』のよさや改善点を交流し合って来年度に向けてスタートしましょうということで、出してもらったものを、事務局で記録していただいて、集約したものを次回の会議で来年度の方向性、基本的な方向性を出していこうと思っております。

まず日時ですが、初めて8月に行いまして、交流館のオープニングにあわせて開催したということでもよかったな、と思っております。ただ、前日や当日に地域の夏祭りがあったということで、準備や後片付けで区長さんが来られなくて参加が少なかったと思えます。前日に人権セミナーがあり、内容は違っていました。連日の参加はきついという方もいらっしゃったようです。第1回目が6月、第2回目が5月ということで、夏秋冬こういった時期がいいのか、自由に意見を出してください。参加人数は第1回目が338人、2回目は275人で、今回が170人ということでした。

会場の大きさはちょうど良かったのではないかと思います。

実践発表は、講師の助言ということで、3団体×15分の45分。ただ、適切なスライドの枚数を事前にお知らせすればよかったかな、と反省しました。15分ですから、15枚以内ぐらいだったら、早口ですべるような写真にならなかったのではないかと思います。私的な意見としては、商工会が今とても元気ですので、来年度実践報告として商工会、校区コミュニティも1本、それから提言を今年度まとめますので、社会教育委員提言を報告するというのも選択肢としていいのではないかとと思っております。そして、今年同様に活動発表を2団体。

オープニング映像は私の意見ですけどもう少し中高生の写真が欲しいですね。ちょっとBGMのボリュームが小さかったかと思いました。それから写真についてですが以前のつどいで私が西小学校の時に集めた子どもたちの写真がたくさんありまして、今高校生になっております。各コミュニティやいろんな団体でみなさん活躍されていますので、社会教育委員の手でもう少し写真を集めて、事務局のほうで編集してもらったらな、と思っております。

参加体制の取り組みということで、参加人数は減ってきているんですが、もう少し我々の口コミで増やしていくしかないのか、と思えます。私も今度の11月に区長会で、人権についての講演をしますので、そこで『笑顔のつどい』の映像を使わせてもらって、「『笑顔のつどい』ってこんなに素晴らしいんです

よ」とコマーシャルをしていこうかと思っています。

今回の役割分担や会場配置図を事務局で準備してもらってよかったと思っています。リハーサルも当日の見通しが立つという点で、2回行なって良かったと思います。ポスターセッションについて、参加者は非常に少なかったんですが、いい試みではないかと思っていますので、来年度も継続したいと思います。

つどいの構成ですが、基本的な構成はもう少し継続していいのではないかと思います。5回ぐらいやって5年おきぐらいに基本的な構成を大幅に見直すこともいいのではないかと思います。

以上の視点で、みなさん自由に意見を出していただきたいと思っています。

委員：

私は受付をしていたんですが、迷われていた方が多く、初めてのところだったので仕方がない面もありましたけど、場所の案内板をもう少し立てていたほうがよかったのかな、と思いました。参加者が少なかった点は、私は反省すべきだと思っています。分館長の研修会ということで位置づけてあるにもかかわらず、分館長・分館主事関係の参加者がすごく少なくて、前回もそうだったんですけど、コミュニティ推進課を通してますます連携ができなくなっている、というところを考えると、前回の反省が、生きてなかったんじゃないかな、という気がします。

場所の広さはちょうどよかったのではないかなと思います。一体感もあって思ったよりスライドもちゃんと後方でも見ることができ、その点はよかったなと思いました。

委員：

私も参加者が少ないと思います。校区の夏祭りの前後ということで、準備や片づけで地域の方が参加できなかったであるとか、学校の職員にもアピールしましたが、各学校でも地域に参加しないといけないということだったようです。今回交流館のオープニングとして日程が決まっていたんですが、次回は地域の催し事がないときや準備期間と重ならないような日程にすれば、内容的には非常に良いものですから、もっと広げられるような機会にしていけばいいのかなと思いました。

委員：

170人という人数を私は集めることができなかったので、すごいなと思っていたんですが、第1回目の300人ということを、どうしてこんなにいっぱい来てくださったのかと考えると、開催時期なのかな、という気がします。交流館のオープンというのがあったので、やむを得なかったと思うんですが、夏の8月の頭は、地域も忙しいし、家族も忙しい、というのがあったのかなと思いました。だから時期的にこの6月というのがたまたまよかったのか、2回目若干少ないのはやむを得ない、1回目はみんなの気合いが入っていたからかな、というのもあると思うんですが、参加者が気になりました。

それ以外は私も新鮮な思いで聞かせてもらいましたし、りんコールさんのお手伝いをしたんですけど、すごく盛り上がっていたので、活動発表をしている人たちが普通の発表とは違って、違う立場の会での発表というのはいいいのかなと思います。それと役割分担の中で委員同士のコンビネーションがすごいなと感心しておりました。

委員：

人数のことはやっぱり、開催時期が大きな問題だと思います。1回目、2回目みたいに春先、運動会が終わったあたりがいいのかなと思います。秋も秋で地域によっては結構行事がありますし、夏は暑かったり、夏祭りがあつたりしますので、その辺を検討したらいいかなと思います。ポスターセッションですが、場所もちょうどいい広さで、参加者同士がお話しされたり、関係の方がいろんな質問されたりとか、小規模ではありましたが、面白い試みだと思います。今回は発表されたところのポスターでしたが、そうじゃないところも出していただいて、発表は発表、ポスターはポスターでいいかと思います。ただそのときに問題になるのが、ずっとその外で待っている人たちがいるわけではないので、その辺はちょっと考えた方がいいかなと思いました。先ほど、お話にもありましたが委員同士や事務局も含めて、的確な連携ができて、そこはよかったと思いました。

委員：

今年は参加人数が交流館の柿落としという日程で、私もだいぶ声をかけましたが前日は夏祭り、という事もあり他の区についても当日が夏祭りというところがあつたりして難しかったようです。私も色々なところに首を突っ込んでいますが、4月から6月初旬まで総会などが続くので、6月中旬から7月中旬までの間に開催してはどうかと思いました。今年も役割を決めていましたが、声掛けにノルマというか、「4人くらいはお願いね」とか、そういったものをしていいかと思いました。中身が「行ってよかった」と思ってもらえる中身であればそれでいいかと思います。

司会をさせてもらって、前から見ていましたが、来場者のマナーが昨年に比べると良かったかと思いました。ステージが近いというのもあるのかもしれませんが、ほとんど私語もなくて静かで、出入りもほとんどありませんでした。また、オープニングの映像にどこの地域の何の写真か、といったコメントを入れて見てもらうといいかと思いました。

委員：

今年はゆっくり見せていただいて、これは本当にいつどいだな、と思いましたので、なんで参加者が少なかったんだろうと、本当に残念に思いました。日程については、前日が夏祭りで、2日続けての参加は大変だということを、区長や分館の方から直に聞きましたので、日にちの設定は難しいと思いますが、そこが上手くいけば、参加が増えるのではないかと思いました。会場も良く、古賀キッズプラスは、子どもたちはもちろんのこと、保護者も「こういう場に参加させてもらってよかった」と喜んでおられました。キッズプラスの規模にとって、かけ離れていないちょうどいいステージという事で、とても良かったと思います。参加者についてですが、社会貢献をする団体が減免団体になっていますが、色々な団体が登録されていますので、そういった団体にも参加していただけたらと思います。自分たちも出演するとしたらどういったことができるか、ということも考えていただける時間にもなるかと思います。分館などの出席も大事だと思いますが、そういった団体にも参加していただいて、団体をつなぐ事ができれば広がっていくのではないかと思います。

委員：

自分の反省としては笑顔の写真をひろうことができず、伝えていく、という活動も足らなかったなど反省しています。千鳥校区もほとんどが夏祭りだったので、私自身もつどいの準備で夏祭りに行けなかったり、地域との交流もうまくいかないまま当日を迎えたので、地区の人に無理を言って「来て」と言えない部分もあったり、設定が難しかった、と思いました。最初は交流館のオープニングに合わせて、ということだったので、いいなと思ったんですが、地域との行事もどこでやってもいろいろあるんでしょうけど、委員が言われたように6月中旬から7月中旬が1番よさそうな気がします。去年が小学校の運動会の次の日で、雨で流れたら重なるという、微妙な時期だったので1回目の6月15日は日程がちょうどいい、1番ベストだったのかなと思いました。ポスターセッションも、最初は見られませんでしたけど、後半も、各団体の方がそれぞれで交流されていたりとか、意見を交換されていたり、いきいき交流されているのを見て、委員にアイデアを出していただいて、場所もホールのすぐ横の見えるところでできたので、ちょうどいい所だったなと思いました。司会についてですが、様子を見ながらの声掛けであったり、間をつないでいただいたりとかで、すごくよかったです。昨年も大きいホールでの司会も大変だったと思うんですけど、中くらいのちょうどいいホールでのベストな司会を間近に拝見できて楽しくてよかったです。

委員：

次回集約していただいて、追加の意見がありましたら出していただきたいと思います。

では、「協議事項(2)家庭の教育力と地域の教育について」、グループ討議を行ないたいと思います。
(グループ討議)

委員：

みなさん、お疲れ様でした。

「3. 報告事項」に移ります。「(1) (2)について」、事務局からお願いします。

(事務局より「3. 報告事項(1)平成28年度福岡ブロック社会教育研究大会、(2)平成28年度第46回九州ブロック社会教育研究大会」について説明。)

委員：

「4. その他(1)各委員から」、みなさんから連絡はありませんか。

(委員より、古賀西校区コミュニティ運営協議会の『ハマボウまつり』、『夏休み水泳教室』、古賀西小学校体力向上委員会「浜の運動会・体カアップ大作戦」について説明。委員より「子ども子育て会議」、「図書館協議会」の開催内容について報告。委員より交流館の使用状況についての質問があり、事務局より説明。)

委員：

他にないようであれば、「(2)(3)について」事務局からお願いします。

(「(2)男女共同参画セミナー『輝け！KOGA☆サミット2016』への参加について」、「(3)第2回みんなの人権セミナーについて」、事務局より説明。)

委員：

他にないようでしたら、「5. おわりの言葉」を委員よりお願いします。

委員：

みなさんお疲れ様でした。